

地域連携

森田地区まちづくり協議会と 仁愛女子短期大学との連携事業報告

地域活動実践センター長 三 和 優

「森田地区まちづくり協議会と仁愛女子短期大学との連携に関する協定」が平成22年8月30日に締結されました。この協定に基づいて、平成25年度も相互に連携・協力して様々な事業を展開してきました。

1 森田・仁愛女子短期大学連携協議会

「森田・仁愛女子短期大学連携協議会」が平成25年6月7日19時30分から仁愛女子短期大学会議室で開催されました。森田地区から自治会連合会会長の大島康成氏ほか6名が、本学から禿正宣学長ほか5名が出席しました。



森田地区の出席者（自治会連合会長:大島康成・副会長:白崎徹、運営審議会委員長:片山栄一、文化委員会委員長:高木荘治・副委員長:勝見祐昌、公民館長:吉村公司・主事:吉田智子）



仁愛女子短大の出席者（学長:禿正宣、副学長:水岸誠、学生部長:内山秀樹、事務長:吉川敏通、地域活動実践センター長:三和優・事務:中村澄子）

協議事項は、平成24年度に実施した連携事業の報告及び平成25年度実施予定の連携事業についてです。特に連携事業として、もりた夢駅・夏物語、もりた夢市、森田地区文化祭と本学大学祭（10月19日・20日）の連携・協力、夢ギャラリー森田（JR森田駅）の運用と設備充実について意見を交換しました。

2 公民館と地域活動実践センターの事務打合せ

平成26年1月28日に事務レベルの協議を仁愛女子短期大学で行いました。森田地区の窓口である森田公民館からは館長の吉村公司氏と主事の吉田智子氏が、本学からは地域活動実践センター長の三和優とセンター事務の中村澄子が出席しました。ここでは、平成25年度のふりかえりと平成26年度実施予定の連携事業、夢ギャラリー森田（森田駅）の運用状況等について話し合われました。

3 森田地区将来ビジョン見直しワークショップ

2007年に策定した将来ビジョンを見直すことになり、4回の準備・とりまとめ会議、3回の住民ワークショップを生活環境専攻環境デザイン研究室の内山秀樹教授とそのゼミ生4名が支援助、『森田地区将来ビジョンPart II』を取りまとめました。詳細は「地域連携開放講座（pp.22-24）」の項をご覧ください。

4 もりた夢駅～夏物語2013～

これは7月7日（日）に開催されましたが、生活環境専攻1回生が「地域環境論（内山秀樹教授）」の一環として参画しました。学生たちだけで「企画の検討、段取り、実行」しました。企画の中で駅ギャラリーに設置した「もりた銀河鉄道77」が大変好評で、イベント後1か月間の展示を依頼されました。詳細は「地域連携開放講座（pp.22-24）」の項をご覧ください。

5 森田地区エコキャンドル2013

生活環境専攻1回生が「地域環境論（内山秀樹教授）」の一環として参画しました。学生は、エコキャンドルデザイン画の公募の検討、採用図柄の遠近法による展開、記録

集の取りまとめを担当しました。また、7月27日(土)当日は炎天下でしたが、エコキャンドルの準備段階から参加しました。詳細は「地域連携開放講座(pp.22-24)」の項をご覧ください。

6 森田地区文化祭と本学大学祭の連携・協力 (10月19日・20日)

森田地区の方々との連携を深める機会として、住民の方々には19日の仁短祭への参加を、本学学生には20日の森田地区文化祭への参加を呼びかけました。去年は抽選会の参加者が少なかったため、今年はその代わりに「お菓子のつかみ取り」を行いました。

①学生会実行委員会

委員16名が文化祭の販売スタッフとして参加し、森田地区住民の方々との交流ができました。

②生活環境専攻

森田地区文化祭ポスターとチラシのデザインを担当しました。また手作りアクセサリーも販売しました。

③栄養研究サークル

パウンドケーキを販売しました。当日は雨のためラベルの一部がぬれてしまいましたが、販売には差し支えなかったため、ほっとしました。

④書道サークル

森田小学校の体育館で部員の作品を展示しました。

⑤幼児教育学科

「じんあいこどものくに」で人気の缶当てゲームを行う予定でしたが、雨天のため中止になりました。



栄養研究サークルのパウンドケーキ店



ファッションデザイン研究室のファッション雑貨店

7 もりた夢市(11月10日)

この住民主体の朝市は、地域活性化の取り組みの一つとして、5年ほど前から開催しています。森田地区住民が作ったもの、森田で採れたもの、本学学生が作ったものを販売します。本学からは「仁短の店」として次の出店がありました。

①生活環境専攻ファッションデザイン研究室

2回生6名は、ファッション雑貨を販売しました。あまり売れゆきは良くありませんでしたが、お客さんから「こんな物を作ってほしいという」要望を聞くなど、ニーズの把握ができたという点では、収穫がありました。



さかな(左)とエイリアン(右)のブローチ

②栄養研究サークル

学生7名が手作りパウンドケーキを販売しました。今年もパウンドケーキは大好評で、すぐ完売してしまいました。



森田地区文化祭のポスター

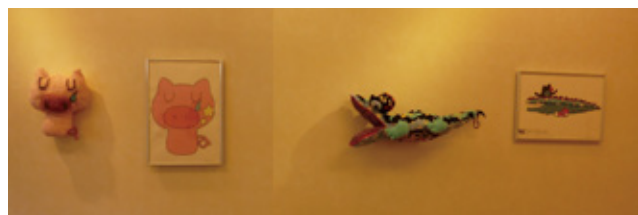
8 夢ギャラリー森田 (JR森田駅)

地域の方にJR森田駅をもっと身近に感じてもらうため、駅舎内の一角に「ギャラリー」が開設されました。本学と森田地区の方が1カ月交代でそれぞれ作品を展示します。本学の学生が展示した作品は次のとおりです。

①第17集『わたしのマスコットキャラクター』

(5月1日～24日)

出品者は生活環境専攻生6名です。今回の作品は、自分自身をキャラクター化してイラストを描き、それを基にして布の特性を活かして立体化して、作品に仕上げたものです。



第17集『わたしのマスコットキャラクター』

②第18集『森田銀河鉄道77』(7月7日～31日)

出品者は生活環境専攻生1回生です。7月7日(日)の「もりた夢駅～夏物語～」で制作した「森田銀河鉄道77」の出来栄がよく、主催者から夢ギャラリー森田にしばらく展示しておいてほしいという依頼があり、期間を延長して展示しました。



第19集『2.5次元をめざして』

③第19集『2.5次元をめざして』(9月6日～9月17日)

出品者はヴィジュアルパフォーマンスサークルの篠、さくさんのさんです。彼女ら自身がモデルになり、2.5次元の世界をめざし、鷹巣の海やITビジネスプラザ、ハンバーガーランドなど色々な場所で撮影した作品を展示しました。



第20集『津村節子パネル展』

④第20集『津村節子パネル展』(9月18日～30日)

出品者は附属図書館です。津村節子氏のプロフィール、幼少期から女学校まで、芥川賞受賞への歩み、ふるさと福井を題材にした津村文学の魅力となっている「ふるさと5部作」の解説などのパネルを展示しました。

⑤第21集『色』(10月10日～31日)

出品者は写真サークルの嶋田侑加、寺山胡桃、藤田瞳、見玉圭奈子、龍田美紀、早瀬未久、柳川仁美さんでした。

⑥第22集『子ども向けのイラスト』(1月10日～30日)

出品者は漫画研究サークルの横田知佐紀、万久あゆみ、中村優奈、飛田真梨子、舟澤慎里子さんでした。

⑦第23集『季節の壁画』(3月3日～26日)

出品者は幼児教育学科1回生です。保育現場で必要とされる季節の壁画を図画工作の授業で共同制作した作品を展示しました。



第23集『季節の壁画』